

令和6年9月27日

No. 7



発行責任者
校長 有崎 美紀

自ら伸びる



府中中央小学校ホームページ <http://chuosho.fuchu-town.ed.jp>

「やりきった」実感のもてる行事を

9月11日(水)12日(木)の2日間、6年生と修学旅行に行ってきました。この度の修学旅行は、6年部の意図がしっかり見て取れるものでした。旅行前の結団式で、子供たち自らが「何のための修学旅行なのか」を確認し合っていたからでしょうか。入所式等での言葉も、全ての子供がノー原稿で語り、出会う方々におじぎを含めた気持ちのよい挨拶を重ねていました。バス内では様々なレクで盛り上がり、普段おとなしい子も一発芸やクイズをする様子から、安心して自己開示できる環境を日頃から積み重ねていることがよく分かりました。

修学旅行の次の日の大休憩に、6年生の子供たちが校長室に来て、「修学旅行の引率をしてくださって、ありがとうございます。」と挨拶をしてくれました。担任の後ろ姿を子供は見ているのだなと感激すると同時に、「やりきった」満足感が感謝の心を育むのだとあらためて教えられました。

帰校式でも伝えましたが、この学年の子供たちの武器は「素直さ」です。自分の考えに固執するのではなく、他者の考えを受け入れる柔らかい心をもっています。

京セラの創業者である稲盛和夫氏は、「素直な心とは、自分自身のいたらなさを認め、そこから努力するという謙虚な姿勢のこと」「素直に人の意見をよく聞き、常に反省し、自分自身を見つめることができる人が本当に伸びる人」と述べています。この子たちの良さを伸ばしながら、「やりきった」実感のもてる行事をこれからも子供とともに創っていきます。



授業参観・学級懇談会

9月5日(木)、6日(金)は授業参観・学級懇談会でした。2学期が始まって1週間足らずでしたが、どの学級でも意欲的に学習に取り組む子供達の姿が見られました。学級懇談会では、1学期からこれまでの学年・学級や子供達の様子、夏休み中のご家庭での様子、2学期の学習・行事予定などについてお話をさせていただきました。また、2年生とにこにこ学級では、懇談会で「『親の力』を学びあう学習プログラム」を実施し、子育てに関する悩みを共有したりアドバイスし合ったりと、親同士が交流を通して仲良くなることができました。



【参加された保護者の感想】

- ・“うちだけではない”という状況を知ることで、親として気が楽になりました。
- ・他のご家族の話聞く機会がないので、共感する話に安心でき、ヒントをいただけ良かったです。
- ・参加して良かったと思いました。皆さん悩みながらも子供と生活しておられて、私も頑張っていこうと前向きになれました。
- ・日々の子育てを改めて振り返ることができて、とても良い機会になりました。

修学旅行～「ともに」～

9月11日(水)、12日(木)に、6年生が山口・福岡方面に1泊2日の修学旅行に行きました。修学旅行のめあてを「ともに」とし、係を決めたり、行動計画を立てたりしました。「ともに」の意味は、「①友達と協力し、時間通り行動する。②それぞれの役割に責任をもって活動する。③感謝の気持ちを持ち、もにも楽しむ。」でした。まさに、子供達が互いに協力し合いながら自ら創る修学旅行でした。それぞれの見学地でしっかり見て、聞いて、感じて、学びを深めることができました。また、すれ違う観光客の方に気持ちの良い挨拶をしたり、お世話になった方にきちんとお礼を言ったり、仲間を気遣う言葉をかけ合ったりする姿が多く見られました。6年生の成長や良さを随所に感じる事ができた2日間でした。



日程 1日目:学校出発⇒秋吉台⇒秋芳洞⇒秋吉台サファリランド⇒マリンワールド海の中道⇒宿舎
2日目:宿舎⇒キッザニア福岡⇒学校到着



【帰校式】児童代表あいさつ

6年 代表児童

みなさん、この修学旅行を支えてくれた人1人1人に感謝し、「何のために行動するのか」を意識して修学旅行を楽しむことができましたか。

私は、就寝班の友達と協力して布団を敷いたりたたんだりした事から、団結力を伸ばすことができました。また、キッザニアでは、計画していたパビリオンにたくさんの人が並んでいて、違うパビリオンに行ったことから、臨機応変に対応する力を伸ばすこともできました。特に、キッザニアでは働くことの大変さ、難しさを体験することができ、私はその体験から人と協力することの大切さを学びました。仕事は1人でやるのも大切ですが、お互いに協力し合った方がもっと楽しくなるし、やる気が出ると思います。みなさんはどうですか？家に帰って2日間の自分の態度・言葉づかいを振り返ってみましょう。

今回の修学旅行で伸ばした力をこれからの学校生活に生かしていきましょう。

チェロ演奏会～素敵なハーモニー～

9月5日(木)にチェロ演奏家の川岡光一様とピアニストの木村仁美様をゲストにお迎えして、5年生児童を対象にチェロ演奏会を行いました。演奏者の方から、ピアノの構造やチェロの弓の材料や手入れの仕方等について教えていただいたり、楽器のすぐそばで生演奏を聴かせていただいたりと貴重な経験をしました。アニメ「宇宙戦艦ヤマト」の主題歌や4年生の音楽で鑑賞したサンサーンス作曲の「白鳥」等、聴き慣れた曲もあり、素敵な音色に耳を傾け、楽しいひと時を過ごすことができました。



「未来に本気 環境賞」受賞～地域の宝を守りたい～

クラブ活動の1つである「環境クラブ」の活動が、一般社団法人広島県資源循環協会主催「未来に本気環境賞」を受賞しました。令和4年度から発足した環境クラブは、校区にある空城山公園を「自分たちの地域の宝」と捉え、「地域の宝を守りたい」という気持ちで、空城山公園で活動したり維持管理したりされている「チーム空城」の地域の方々に協力をいただきながら、地域の皆さんと子供たちが一緒に楽しみながら活動しています。校内の「探究の森」で、樹木ツアーやキクイムシ被害の防除、門松づくり、樹木診断や枯れ枝剪定、樹木の名札づくり等、様々な活動を行っています。今後も、「探究の森」だけでなく、空城山公園、府中町内の自然を地域の宝と捉え、地域のよさに誇りをもち、自ら環境を大切に育てていきます。



安芸地区PTA親善ソフトボール大会

9月8日(日)に、保護者と教職員の有志がソフトボールチームを結成し、海田総合公園町営野球場で行われた安芸地区PTA親善ソフトボール大会に出場しました。1試合目で敗戦という結果でしたが、チーム中央小のメンバーが一致団結して、得点を入れたりファインプレーがあったりと、熱戦を繰り広げました。何よりも保護者と教職員、そして安芸地区の皆さんとの親睦を深めることができ、暑い中ではありましたが、いい汗を流す機会となりました。



学校評価アンケートの結果について

保護者の皆様には学校評価アンケート(7月実施)へのご協力ありがとうございました。結果は次のとおりです。

「言葉を大切にした学びの展開」「成長の喜びが実感できる行事の創造」「協力し合いながら学校生活を送る」及び「府中中央小の教育への満足度」については、90%以上の肯定的評価をいただいています。学校への信頼をいただけていること、本校が重点を置いている教育活動にご理解いただけていることを心強く思います。

しかし、子供の「自己認識」に関わる項目や「コミュニティ・スクールの一員としてできること」「学校行事や地域行事を通じた関わり合いや学び合い」の肯定的評価は、80%を超えていません。コミュニティ・スクールとは、学校の教育目標の達成を目指し、学校と地域とが共有する目標に向かって、共に学校運営の充実・改善に向かって取り組む方策を協議する体制のある学校であり、保護者の皆様一人一人が、コミュニティ・スクールの一員です。

2学期以降は、各学年の実態に応じ、学習発表会等の学校行事や教育活動を通して一人一人の「よさ」や「伸び」を丁寧にみとり、評価していきます。今後も子供たちの成長を願って教職員が保護者の皆様、地域の方々と一体となり、本校の教育活動の充実を図ることができるよう取組の改善を進めてまいります。保護者の皆様には引き続き、ご支援・ご協力をお願いします。

